

地域のバイオマスで石油代替エネルギーを開発し、地域の再生と地球温暖化防止を目指そう

主催 鳥取環境大学とくぐるまちづくり研究会 (後援 鳥取環境大学、鳥取バイオマス研究会、NPO 法人鳥取発エコタウン2020)

ねらい 脱石油、地球温暖化防止は、偏在する石油資源に過度に依存している日本にとって、喫緊の問題です。一方、地球上にあまねく広く賦存するバイオマスの全エネルギーは、全世界のエネルギー消費量の1万倍にもなるのに、有効に使われていません。京都議定書では日本はCO₂の削減を90年比6%を約束しましたが、鳥取県では、逆に8%の増加となっています。鳥取県に豊かに賦存するバイオマスを活用して、石油代替エネルギーを生み出し、幅広く生活に活かす社会の仕組みをつくることで、地球温暖化対策の実現と同時に、循環型社会の構築を通じた地域の自立・再生が、求められています。その一環として、日本での最先端の事例に学び、地域の皆さんと共に考えるために、下記のような講演会を開催します。バイオマスは、だれでも、いつでも、どこでも、みんなで、楽しく活用できます。ご参加くださることを期待しています。(参加料 無料。参加申し込みはファックス 0857 - 38 - 6771 お願いします。)

第一回講演会 森の恵みを、エネルギーにー木質バイオマスで、地域を再生し 地球の危機を救え！！

平成 18 年 3 月 16 日 (木) 午後 1 時 15 分 場所；鳥取環境大学

1 農業分野での木質バイオマスの利活用について

真庭バイオマスエネルギー株式会社 取締役事業部長 長田正之氏

2 木質ガス化発電ー間伐材と竹からのガス化発電、熱利用などの実証試験より

中外炉工業株式会社 安藤慶一郎氏

3 鳥取県の木質バイオマス利活用の可能性を探る

鳥取環境大学環境デザイン学科教授 吉村元男

第二回講演会 菜の花で、「田を油田に」！！

平成 18 年 3 月 24 日 (金) 午後 1 時 15 分 場所；鳥取環境大学

藤井絢子滋賀県環境生協理事長、菜の花プロジェクトネットワーク代表

第三回講演会 地域の足として蘇えれーオンデマンド天ぷらバス

平成 18 年 3 月 28 日 (火) 午後 1 時 15 分 場所；鳥取環境大学

1 市民の足 :オンデマンドバスシステムの提案

福山峻一鳥取環境大学情報システム学科教授 NPO 法人鳥取発エコタウン2020 副理事長

2 オンデマンドバス運行支援システムの開発 導入状況

NTT ドコモ中国 鳥取支店長 長谷川悦一氏

3 先進地事例 横浜市のオンデマンドバス (未定)

NTT ソフトウェア 吉場氏



デイサービスに導入された木質ペレットボイラー 真庭市



菜の花畑



養蜂



講師；演題などは、やむを得ない事情で替わることもありますので、ご了解をお願いします

